

## Q. むかし、<sup>ひらやま</sup>平山にあったゆうえんちの名は？

こたえは【<sup>こうりょうげん</sup>鮫陵源】です。

昭和11年(1936)、今の<sup>たきあいばし</sup>滝合橋の近く(東平山一丁目)に、<sup>さめじまかめのすけ</sup>鮫島亀之助という人が作ったのが鮫陵源です。三角屋根の<sup>たても</sup>建物がある正門を入ると、アユやマスやコイなど魚を育てる池や、「<sup>おおやますべ</sup>大山滑り台」という大きな滑り台やいろいろな遊具がありました。家族連れや遠足の子どもたちでたいへんにぎわっていたそうです。けれども<sup>せんそう</sup>戦争がはげしくなった昭和18年(1943)に<sup>えいぎょう</sup>営業を中止。その後、平和になってからしばらく<sup>りょうりてん</sup>料理店として開いていましたが、東京オリンピックが開かれた昭和39年(1964)に、この場所に<sup>じゅうたく</sup>平山住宅が建てられました。今でも平山住宅のなかに「<sup>へんざいてん</sup>鮫陵弁財天」の池の一部や当時をしのばせる<sup>いしがき</sup>石垣などが残っています。



### ～<sup>さんこう</sup>参考にした資料～

★『<sup>ななお</sup>歩こう 調べよう ふるさと七生』日野市教育委員会 2020年 p.30

### ～鮫陵源についてもっと知りたいなら～

『<sup>しせいしこう</sup>ふるさと日野 日野市制施行50周年記念写真集』  
<sup>こばやしかずお</sup>小林和男 / <sup>かんしゅう</sup>監修 <sup>きょうとしゅつぱん</sup>郷土出版社 2013年 p.47

『<sup>たま</sup>多摩ら・び no.24<立川駅南口・日野>』2003年 p.32-36

『<sup>へん</sup>日野市史通史編4 近代(2)・現代』  
日野市史編さん委員会 1998年 p.298-299

『<sup>はちおうじ</sup>目で見る八王子・日野の100年』郷土出版社 1996年 p.78-79

『平山をさぐる 鮫陵源とその時代』  
<sup>たんけんたい</sup>ひらやま探検隊 / 編 日野市生活課 1994年 p.2-13

※ ★がついているのは子ども(小学校中学年程度<sup>ていど</sup>)向けの資料です。